

話し合いの内容を正しくまとめよう

名前

学習日

ポイント

- 話し合いで出た意見をとらえましょう。
- 司会の役わりについて考えましょう。

問題

ある小学校のクラスの教室で生きものを飼うことになりました。次は、そのことについて行われた話し合いの場面と、その内ようを整理した表です。これらを読んで、あとの(1)～(3)の問題に答えなさい。

司会 これから、「教室で何を飼うか」という議題で、話し合いを始めます。まず、何を飼うかについて、案とその理由を言ってください。それから、出た案について話し合って、決めていきます。それでは、案のある人は手を挙げて発言してください。

ゆかり わたしは、ウサギを飼いたいです。さわると気持ちいいし、かわいいので、やさしい気持ちになれると思います。

こうじ ぼくは、たとえばインコのような小鳥を飼うのがいいと思います。小鳥なら、場所をとらないし、鳴き声を聞いて楽しめると思うからです。

ひろこ わたしは、メダカがいいと思います。メダカなら、それほど大きくない水そうでも飼えるので、広い場所は必要ないし、たくさんふやすこともできるからです。

司会 なるほど、ありがとうございます。ここまで、ウサギ、小鳥、メダカという案が出ましたが、何か他にはありませんか。……他に案が出ないようですので、ここからは、この三つの案に対して意見を出してもらいたいと思います。意見のある人は手を挙げて発言してください。

よしお ぼくは、ウサギを飼う案にさん成です。ウサギは、イヌなどと同じがって、散歩をさせなくてもいいので、飼うのが楽だと思います。

みなこ わたしは、小鳥を飼う案にさん成です。小鳥には、きれいな色をしているものが多いので、見て楽しむこともできるのではな

いかと思います。

たつお ぼくは、ウサギを飼う案に反対です。たしかに、ウサギはかわいいので好きです。ただ、はねたり走り回ったりするので、教室の中で飼うのはせまいのではないでしょうか。それに、もしにげられたら、つかまえるのがたいへんです。

しずか わたしは、小鳥には反対です。せまい場所でも飼えることは良いし、鳴き声や色を楽しめそうですが、じゅ業中に鳴かれたら、うるさいと感じるかもしれません。あと、よく気をつけないと、飛んでいってしまうかもしれません。

司会 ウサギと小鳥については、さん成の意見と反対の意見の両方が出ています。ウサギにも小鳥にも、※という問題があるようですね。メダカについては何か意見はありませんか。

そうた ぼくは、メダカなら、場所の問題もないし、にげ出すこともないので、良いと思います。

	ウサギ	小鳥（インコ）	メダカ
飼いたいと思う理由	<ul style="list-style-type: none">・さわると気持ちがいいから。・かわいいので、やさしい気持ちになれるから。・散歩をさせなくてもいいから。	<ul style="list-style-type: none">・場所をとらないから。・鳴き声を聞いて楽しめるから。・きれいな色を見て楽しめるから。	<div><div>・</div><div>・</div><div>・</div></div>
飼うのはむずかしいと思う理由	<ul style="list-style-type: none">・はねたり走り回ったりするので、教室の中で飼うのはせまいから。 <div>A</div>	<ul style="list-style-type: none">・じゅ業中に鳴くとうるさいから。 <div>B</div>	

- (1) 司会の発言の ※ には、ウサギや小鳥を飼うことはむずかしいと考える理由の中の、 A と B をまとめた内ようが入ります。
 ※ に入るふさわしいことばを、十五字以内で書いて答えなさい。

- (2) 話し合いの中では、メダカを飼いたいと思う理由として、二人の人から三つの内ようが挙げられています。その三つの内ようを、メダカを飼いたいと思う人の立場の形で、次の《条件》に合わせて書きなさい。

《条件》

- ・一文にまとめて六十字以内で書くこと。
- ・次のウサギや小鳥を飼いたいと思う人の立場の発言を参考にして、「メダカは」という書き出しで書くこと。

ウサギを飼いたいと思う人の立場

「ウサギはさわると気持ちがいいし、かわいいのでやさしい気持ちになれるし、散歩をさせる必要ありません。」

小鳥を飼いたいと思う人の立場

「小鳥は場所をとらないし、鳴き声を聞いたり、色を見たりして楽しめます。」

- (3) この話し合いの司会についての説明としてふさわしいものを、次から二つ選び、記号で答えなさい。
- ア 最初に、話し合いの目的と進め方を説明して、話し合いが進みやすいようにしている。
- イ 発言していない人にも話しかけて、発言を求め、多くの人の意見を聞き出そうとしている。
- ウ とちゅうで、それまでの話し合いの内ようをまとめて、わかりやすくしめている。
- エ 話し合いの内ようが目的から外れそうになったら、注意をあたえて、話をもどしている。
- オ 最後に、決まったことをクラス全体にたしかめて、話し合いをまとめている。

話し合いの内ようを正しくするポイント

かい答



- (1) (例) にげられるかもしれない
(2) (例) メダカは、あまり大きくない水そうで飼えて、広い場所がいらないし、たくさんふやすこともできて、にげる心配ありません。
- (3) ア・ウ

- (正答の条件)
(1) 「にげられるかもしれない」という内ようを、十五字以内で書いていること
直後の「という問題」に続く形で書いていること。
(2) 「広い場所がいらない」(または「小さな水そうで飼える」と「たくさんふやせる」と「にげる心配がない」の三つの内ようをとりあげて六十字以内の一文で書いていること。

アドバイス



- (1) 表のAに入るのは、たつおさんの発言にある「にげられたら、つかまえるのがたいへんです」という内ようです。また、Bに入るのは、しずかさんの発言にある「飛んでいってしまうかもしれません」という内ようです。この二つに共通する内ようを、十五字以内でまとめましょう。 ※
の直後の「という問題」に続く形で書くこともわすれないようにしましょう。

- (2) メダカを飼いたいと言ったひろこさんの発言と、メダカを飼うことにさん成したそうたさんの発言の中から、三つの内ようをさがし、一文にまとめましょう。参考にする発言の形に合わせて、「メダカは〜」という書き出しにして、文末はていねいな言い方にしましょう。

- (3) 司会は、最初に議題と話し合いの進め方を説明しています。また、「ここまで、ウサギ、小鳥、メダカという案が出ました」「さん成の意見と反対の意見の両方が出ています」と、とちゅうでそれまでの話し合いの内ようをまとめています。